

vol.
17

Peace Concert
in Nagayo 2016

平和コンサート

inながよ



2016 8/7

日

長与町民文化ホール

ごあいさつ

長与町長 吉田 慎一

「平和コンサート in ながよ」も、平和の祈りを発信し続けて、17年目を迎えました。

今回から、実行委員会が立ち上げられ、指方浩委員長以下、各委員の皆様のご尽力により、町民を主体とした平和コンサートを開催していただくこととなりました。

被爆から71年が経過し、戦争の、あるいは原爆の悲惨さ、むごさなど、記憶の風化が懸念されるなか、長与町では、平和祈念事業の一環として、今年も音楽に祈りを込めて、平和への想いを発信していただけけることに、心から感謝申し上げます。

長与町では、核兵器の廃絶と恒久平和を願い、平成6年「平和で安全な町」宣言を行い、その後様々な平和事業に取り組んでまいりました。

本日のコンサートにつきましても、恒久平和を念じた平和運動として、水面（みなも）に広がる波紋のようにゆっくりと、確実に広がっていくものと確信いたしております。

今年は、高田中学校吹奏楽部とヴァイオリン演奏のコラボレーションや、「平和コンサート in ながよ」合唱団と長崎北陽台高等学校合唱部とのコラボレーションなど、例年ないプログラム編成となっており、楽しみにしているところです。

結びに、本日のコンサートに出演される皆様、ご指導いただいた皆様、裏方として支えていただきました皆様、そして今日お越しいただいた多くの皆様に、心より感謝申し上げます。そして、すべての皆様とともに、平和の祈りが全世界のあらゆる人々の心に届きますようお祈りし、ご挨拶といたします。

ごあいさつ

平和コンサート in ながよ 実行委員長 指方 浩

皆さん今日は「平和コンサート in ながよ」にお越し下さいましてありがとうございます。私たちはこれまで、2000年（平成12年）のベートーヴェン交響曲第9番「歓喜の歌」の演奏を第1回として、長崎市に隣接する被爆地として救援活動を行った長与町から平和を発信しようと、毎年8月にここ長与町民文化ホールで多くの方のご尽力とご協力のもと平和コンサートを開いてきました。今日はその長い歴史を受けて、子どもたちから中高生、大人まで、そして会場にお越し下さいました皆様といっしょに、新たな気持ちで核兵器の廃絶と平和な世界を願うコンサートを持ちたいと思っています。

今日、世界はますます混迷を深め、争いが絶えず、また天変地異ともいえる自然災害に襲われ、その不安が絶えません。その中にあって音楽は安らぎを与えそして新たな勇気と希望を与えてくれます。

子どもたちは「平和コンサート in ながよ」出演を縁として楽器を手にし、美しい音色を、そしてお互いに協和する響きを求める協調しあう平和な心を育み、楽しみながら練習をしてきました。そして皆様の声援によりステージに立ち、和を奏でされることのなんと素晴らしいことでしょう。中高生は様々な協和音・不協和音を織りなしながらも、調和し一つの楽曲をなしている音楽の世界を、この矛盾に満ちた現実世界の中に表現し、問いかけ、逞しく生きようとしています。その真剣な言葉と声と音は率直で、私たちに真に迫ってきます。それを受けた私たちも過去を語り今を考え合い、未来に向けてこのコンサートと共に作り共有することで、恒久平和への思いを表現しようではありませんか。

このコンサートは直接的に平和実現の主義主張をするものではありません。ぶつかり、そして協調しあうリズム・旋律・ハーモニーを作り出す音符の数々、しかもどれ一つとっても生かされていない音はない、その音符の数々が織りなす音楽の演奏の響きの中に、お互いを尊重し合いともに生きていける平和な人間社会の実現への方向性と願いを感じたいと思います。

この様な企画を開催し続けてきた長与町に感謝の意を表します。「平和コンサート in ながよ」が町歌の歌詞にあります“♪平和な里わが町長与”から「平和で安全な町」宣言を行った長与町民の手作りコンサートとして世界に向けて発信され続けることを願ってやみません。





長与町立高田中学校吹奏楽部

高田中学校吹奏楽部は、3年生8名、2年生14名、1年生9名、計31名で、顧問の中谷先生の指導のもと、日々の音楽活動に励んでいます。

明るく楽しく笑いが絶えない雰囲気の中にも、美しく想いをこめた音色を追究する厳しい姿勢を忘れずに、毎日の基礎練習を大切に2、3年生が1年生に丁寧に指導しながら、音楽を創り上げています。

今年度は、自分達の音楽に対する強い想いと演奏技能の向上を求めて、長崎県吹奏楽コンクールに初挑戦しました。全員の気持ちを一つにして、さらに音楽に関われる喜びを感じているところです。

これからも、演奏できることへの喜びと聴いていただけることへの感謝を大切にして日々精進していきたいと思っています。

曲目紹介

♪折り鶴

作詩・作曲：梅原司平 編曲：後藤寿美

「生きていて良かった それを感じたくて 広島の町から 私は歩いてきた」

1982年、作者が被爆者の思いに自分の思いを寄せて創られた曲です。心を込めて歌います。

♪花は咲く

作曲：菅野よう子 編曲：郷間幹男

NHK 東日本大震災プロジェクト、『明日へ』復興支援ソングと銘打って作曲されたチャリティーソングです。作詞作曲は宮城県出身の岩井俊二さん（作詞）、菅野よう子さん（作曲）。そして、歌は被災地にゆかりの深い歌手やタレント34組36人によって歌われています。

♪アンパンマンのマーチ

作曲：三木たかし 編曲：三浦秀秋

『愛と勇気だけがともだちさ』でおなじみ、「それいけアンパンマン」のオープニングソング。深い内容の歌詞を胸に演奏します。

出 演 者

指揮	中谷 恵里子					
フルート	松坂 聖(3)	山下 玲奈(2)	谷崎 凜歩(1)			
クラリネット	ハント 愛(3)	岩永 未優(2)	太田 陽菜(2)	柏 菜々子(2)	中村 心寧(1)	
テナー・サックス	太田 緑空(2)					
アルト・サックス	下條 里沙(3)	中野 和花(2)	中里 仁美(1)	田上 真衣(1)		
ホルン	辻村 有李(3)	吉富 恵奈(2)	橋村 唯花(1)			
トランペット	上原優衣香(3)	鳥羽 玲華(3)	金子 心咲(2)	野上真理子(2)	末吉 希望(1)	
トロンボーン	高山ありさ(3)	佐舗真里奈(2)				
ユーフォニアム	若松 花音(2)	田中 乃愛(1)				
チューバ	柿本 七輝(2)	香月 彩里(1)				
パーカッション	長田紗貴子(3)	林田 和郁(2)	森 美駒(2)	平古場涼香(1)		



「平和の詩」朗読

「平和の詩」は、戦後60年長与町平和祈念事業として開催された第6回コンサート（2005年）で、長崎西高校・長崎北陽台高校・長崎商業高校に協力をお願いし、高校生の平和への想いを「詩」に託し、朗読する形でご参加いただいた以来続いているものです。ご来場いただいた皆様からは、若者の感性が光る詩に感銘したという感想がたくさん寄せられ、コンサートの重要なプログラムの一つとして定着しております。

あの日

長崎商業高等学校 山下 京香

七十一年前のあの日
町中から光が消えた
人々から笑顔が消えた
町に鳴り響いていたのは
学校の予鈴でも
お昼を知らせる音楽でもなく
ただ耳をふさぎたくなるような
警報の音
色を失くした真っ暗な町を
見下ろしていたのは
真夏の太陽ではなく
大きなきのこ雲だった
何もかもが消えたあの日に光と笑顔と歌を届けよう
色とりどりの折り鶴に
祈りと願いを込めて

あの夏を詩う

長崎西高等学校 田崎花可子

ここから見える風景は
あの日
どんな色をしていたのだろう

このクスノキやマリア像には
今の長崎は
どんな色に見えているのだろう
どれほど時が流れようと
忘れてはいけない色がある

いつか僕らが命果てても
長崎があの日の色に染まらないように
この風景が平和の色に染まっているように
伝え続けよう、僕たちが、この地から

一輪の花を咲かせよう

長崎北陽台高等学校 南里 康介

一輪の花を咲かせよう
その花は虫たちに自然を与え
自然には恵みを与えます

一輪の花を咲かせよう
その花はある人を幸せにし
ある人の幸せが皆を幸せにします

一輪の花を咲かせよう
その花は明日への希望となり
その希望こそが未来へつながります

一輪の花を咲かせよう
一輪の花
それは未来をつなぐ一つの架け橋

今日もそんな一輪の花がまた一つ
皆のどこかで生きているのです

あの夏を詩う

長崎西高等学校 薛 婷堯

戦争とは何だろう
それは
文字の誕生よりもはるか昔に生まれたもの
戦争とは何だろう

戦争とは何だろう
それは
動物を操って始まったもの
そして
刀・剣・矢
そして鉄砲へと
戦争とは何だろう

戦争とは何だろう
それは
核武器による核戦争まで発展したもの
一瞬にして戦うことができる
— すべてのものを犠牲にして —

無数の人々の命
数々の草木
何十年の笑顔
— それは、人性の悪の一面が極端になって現れたもの —
母なる地球が泣いているよ
君は聞こえているかい?
戦争とは何だろう

戦争とは何だろう
それは
一つのボタンによるものに発展していくもの
一つのボタンで
無数の人々どころか
人類の文明すべてを終わらせてしまう
人類の文明すべてを終わらせてしまう
戦争とは何だろう

空

長崎商業高等学校 森田あかり

今日の空はどんな顔をしているだろう
くもりの日の曇った顔
雨の日の寂しい顔
雷が鳴る怒った顔
雪の日のキラキラした顔
晴れた日のまぶしい笑顔
あの日はどんな空だったのだろう
あの日のまぶしい笑顔は
一瞬にして壊された
もう二度と黒い涙を流さないで
青く青く 果てしない空に

変わらない願い

長崎北陽台高等学校 永富 志帆

小さなこの願いが いつか空へ舞い上がる
許し合えるように
認め合えるように
分かち合えるように
手と手を取り合えるように
過去も今も、時を越えて願ってる
私もあなたもあの子もずっと願ってる

変わらない願い
つなげよう世界へ
願いを今、伝えたい

ずっとずっと変わらない願い





「平和の詩」掲載

あの夏を詩う

長崎西高等学校 田崎 葵

聖母マリアは泣きました
空の美しい群青から
黒い塊がおちたこと

聖母マリアは泣きました
長崎の街が一瞬で
真っ黒焦げになるところ

聖母マリアは泣きました
あの日おこった惨劇を
悲鳴に満ちた火の海を



あの夏を詩う

長崎西高等学校 藤田ひかる

この街の今の姿は
他の街とそう変わらない
かつてもそうだった
この国の近代化を支えた街だ
誇れる歴史を持つ街だ
ただ
私たちは覚えておく必要がある
七十年前の出来事を ^{*}
経験していない世代だからこそ
この街には確かに
一発の爆弾が落ちた
大勢の人の命が奪われた
生き残った人たちと
他の街から来た人たちと
新たに生まれ育った人たちとが
この街を蘇らせた
私たちはその地面に立っているのだ
そのことの重みを足の裏から感じながら
雨が降る街を歩いた

あの夏を詩う

長崎西高等学校 野中 光葉

あれが最後とわかっていたら
あの手を離しはしなかった。
あれが最後とわかっていたら
「ごめんなさい」って言えたのに。

自分の最後がわかっていたら
彼らは何をしただろう。

残る遺品や遺構を見るたび
私は彼らに問いたくなる。

あれが最後とわかっていたら？
あれが最後とわかっていたら、

私と今 あの人と過去

長崎北陽台高等学校 有吉亜樹人

春、私は青空に舞い上がったとんびを見て
生命の尊さを感じ
夏、突然のにわか雨に生命の源を知り
秋、赤く染まった落ち葉の上で生命の美しさを感じ
冬、みんなで囲むことたつの中で生命の温かさを知る

春、あのは青空に舞い上がった戦闘機に
恐怖を覚え
夏、空から落ちてくる爆弾の雨に痛みを覚え
秋、血で染まった赤色の大地に憎しみを覚え
冬、凍える寒さと孤独に悲しみを覚えた

私の季節はあの人いた季節の上に成り立っていて、
私の平和はあの人暗黒な日々の上に成り立っている。
今をいきているからこそ今を大切にしたい。

^{*}長崎県立長崎西高等学校の作品は、2015年に書かれたものです。

いま この瞬間

長崎北陽台高等学校 田口 絹枝

いま この瞬間
何人の子供が生命を落としているのだろう
いま この瞬間
何人の子供が銃を持ち戦っているのだろう
いま この瞬間
何人の子供が家族を失い泣いているのだろう

どうして
どうしてこんなことになってしまったのか
同じ子供なのに
同じ地球に住んでいるはずなのに

私は 願う
いま この瞬間
一人でも多くの子供が
生命を落とさず 武器を持たず
大切な人を戦争でなくしたりしないように
私は 願う
いま この瞬間
戦争を止める平和な気持ちが増えることを

声

長崎北陽台高等学校 田中 鳩翔

声がする
誰かの声がする
家が燃えて泣いている声
親と はなればなれの子どもの声
水が飲めず、かずれている声
やけどで苦しんでいる声
病気で苦しんでいる声

声がする
必死に伝えようとする声
今の人々に戦争のおそろしさを
二度とくりかえしてはいけないと

でも声はどんどん小さくなる

今度は僕たちの番

はととはなどあお

長崎商業高等学校 松永 結花

はとが飛んでいる
はとがたくさん飛んでいる
少しがホッとした

はなが咲いている
はながきれいに咲いている
少しがホッとした

今日も空を見上げてみる
どこまでも澄んだあお
ああ よかった
すごく心がホッとした

いつまでも
この温かさが続きますように
いつまでも
この景色が変わりませんように

平和の種

長崎商業高等学校 濱田 桜

私達は誰でも心に種を持っている
それは小さな「平和の種」
人との関わりの中
思いやりという土の中で
種はすくすくと育っていく

そうして種は「平和の花」を咲かせ
また種をつくり
平和が広がっていく

平和のために何をすればいいのか
今まで分からなかったけれど、
私達一人ひとりにできるのは
人への思いやりを持って
「平和の種」を育てるこ

「平和の花」が
世界中のみんなの心に咲いたとき
世界はきっと平和になるはず
そのために今日も
「平和の種」を育てていく





「平和コンサート in ながよ」合唱団

長与町内外で活動している長与プラーム混声合唱団・長与オレンジハーモニー・高田コールファミリエ・コーロあやめ・長崎アカデミー男声合唱団の各合唱団員有志がコンサートの趣旨に賛同し、平和のハーモニーを発信しようと「平和コンサート in ながよ」合唱団として毎年5月に新たに結成され、今年で15年目になります。毎週土曜日に集まり、それぞれの曲で歌われる歌詞の願いとともに、その合唱の響きの中に「調和の世界」への思いを皆で確認し、一人ひとりのパートの音そして合唱の和音を確かめ合って8月に向かって練習を重ねてきました。息の合った仲間の「活気あふれる和の合唱」をお届けします。

出 演 者

指 挥 指方 浩						
ピ ア ノ 中野 美佐						
ソプラノ 尾形 瞳	加藤 伸子	指方美智子	アルト 飯塚 直子	和泉千賀子	今川智恵子	
佐野 浩子	高橋 邦子	滝田みどり	今道 豊子	尾崎 禮子	久原岐代子	
田中 能子	朝永 和子	中島 道子	小嶋美知子	長谷川佐紀子	浜辺 恵子	
丹羽 紀子	平野みどり	水島 節子	姫野みどり	山下ひとみ	吉谷 伝江	
山口 康子						
テノール 青山 義憲	江頭 隆	下野 康文	バ ソ 石島 昭夫	金森 一郎	鎌田 正憲	
益田 清	宮崎 良	山口 武昭	河合 昭久	近藤 明允	高林 弘	
横田 建次	横田 碩稔	吉田 聰憲	中村 耕一	長谷川則昭	丸田 國生	
			宮崎 伸生			



長崎県立長崎北陽台高等学校合唱部

私達はコンクールや各種音楽会への出演に加え、今年度は10月に開催されるねんりんピック総合開会式で、合唱隊の一員として参加させていただきます。3年前に女声合唱団から混声合唱団となり、昨年は本校の芸術鑑賞会でお越し頂いた東混ゾリストンの皆さんと、間宮芳生先生作曲の合唱のためのコンポジションを共演させて頂きました。本日は心を込めて演奏させて頂きます。

出 演 者

ソプラノ 藤田 日和 (2)	前嶽智華子 (1)
アルト 松尾 美海 (2)	山田美津希 (1) 豊島 理奈 (1)
男 声 山本 勘太 (2)	山野 南人 (1) 溝上 大喜 (1) 廣田 尚也 (1)
	堀口 幹太 (1)
指 導 田中 朋子	

曲目紹介

♪プレゼント

作詞：Saori
作曲：Nakajin
編曲：大田桜子

昨年のNHK全国学校音楽コンクール中学校課題曲です。歌うことによって若い世代の感性を感じたくて毎年1曲新しい曲に取り組んでいます。経験したことのないビートのリズムに言葉が乗らなくて苦労しました。セカオワ？？？ってなに？という世代が歌う「プレゼント」“♪ひとりぼっちにさせないから大丈夫だよ”あっ！これは自分たちへのプレゼントだったんだ。次世代、次世代との連帯を願う学習の成果をお楽しみ下さい。

♪鳥の歌 カタルーニャ民謡

編曲：P. カザルス
作詞：長田好弘
合唱編曲：指方浩

「私の生まれ故郷カタルーニャの小鳥たちは、青い空に飛び上ると peace、peace といって鳴くのです」世界国際平和デーに国際連合本部での演奏会で、平和を希求するメッセージの曲として、この曲を世に広めたチェロ奏者P. カザルスの言葉です。これまで「平和コンサート in ながよ」でもチェロの独奏によって演奏されてきました。今回、この願いを継承し歌い伝えるために混声四部合唱に編曲しました。思いをよせて鳥の歌声を聞き共に歌いたいと思います。

♪うた

作詞：佐藤信
作曲編曲：林光

皆さんは歌はどこで聞き覚え、そして歌ってきましたか？遙かな記憶の子守歌、学校で、恋をし失恋をして、生活の中で、平和を求める行動の中で…。この曲は1982年の「ポーランド緊急支援コンサート」で初演されました。今日はヴァイオリン助奏付の合唱版で演奏します。「うた」の語源は「訴え」から来たという説もあります。渾身の「うったう合唱」を送ります。

プロフィール

「平和コンサート in ながよ」
合唱団 ピアノ

なかの みさ
中野 美佐

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。東京コンセルヴァトアール尚美ディプロマコース修了。倉田愛子、伊奈和子、奥田京子、杉谷昭子の各氏に師事。

第34回熊本県新人演奏会に出演。国立音楽センター講師を経て、現在、コーラスアヤメ、コーラス・ファミリア伴奏ピアニスト、後進の指導に力を入れている。



♪マイバラード

作詞作曲：松井孝夫

この曲を平和コンサートで歌うのは3回目になりますが、若い世代のエネルギーを感じ、ともに歌いたくて取り上げました。「平和コンサート in ながよ」合唱団・長崎北陽台高等学校合唱部と合同で歌います。“♪心痛む思い たとえ君を苦しめても 仲間がここにいるよ” “♪僕らは助け合って生きてゆこう” 被災地の復興を願い、エールを送りたいと思います。

♪大地讃頌

作詞：大木惇夫
作曲：佐藤真

カンタータ「土の歌」としてオーケストラと混声合唱により初演されて以来、半世紀以上にわたり多くの人に歌われてきました。7つの楽章より出来たこの組曲は、土への感謝、戦争への怒り・悲しみ、平和への祈りが表現されており、中でも終楽章の「大地讃頌」は中学校校内合唱コンクールの課題曲となったり、卒業式でも全体合唱として歌われています。私たちを生み育ててきた大地の声に耳を傾け、平和で確かな道を歩んで生きてゆけるよう祈りを込めて歌います。

プロフィール

「平和コンサート in ながよ」合唱団
指揮

さしかた ひろし
指方 浩（作曲家）



長崎県生まれ。大阪音楽大学作曲学科卒業、同大学大学院修了。近藤圭・平井康三郎氏に師事。大学院修了後長崎に帰り長崎大学附属中学校、活水高校で教鞭を執る。その後、新しい音楽教育を求めて渡米、音楽指導法をコロンビア大学教授R・ペース氏に学ぶ。

現在、指方音楽工房を経営し、ピアノ・音楽指導にあたる傍ら、東京・大阪を始め全国各地の講習会・研修会で講師を務める。

作曲作品は合唱曲・器楽曲の他、長与北小学校校歌、長与第二中学校校歌、など十数校の校歌を作曲している。またその親しみやすいメロディーの歌曲や合唱作品は全国各地で様々な人たちに毎日のように歌われている。

日本音楽教育学会会員。長崎県音楽連盟会員。長崎ママのコーラス、コーラスアヤメ指揮者。アンサンブル「浩々」主宰。http://homepage2.nifty.com/s-kobo/



「平和コンサート in ながよ」子どものための弦楽器講座

今年で8年目になる弦楽器講座は総勢29名の大所帯です。小学校の1年生や年長さんが多く、活気のある賑やかな練習をしてきました。特に今年はバイオリンだけでなくチェロの希望者も多く、用意した楽器が足りないほどでした。

楽器の持ち方や楽譜上の約束など、初めて出会うことに戸惑いながら頑張ってきました。楽器を弾けるということは嬉しいものです。そして今日、初めて舞台に立つことが、もっと嬉しくて、楽しみなのです。小さなバイオリニストたちに温かいご声援をお願いいたします。

曲目紹介

♪ぶんぶんぶん ボヘミア民謡 編曲：野口 道子

日本の子どもたちにも親しまれている曲ですが、「Summ Summ Summ」が原曲名です。スム スムスムなのか、スン スン スンなのか、ズム ズム ズムなのか分かりませんが、すっかり日本のハチになっています。

このアレンジでは、バイオリンの1弦と2弦で旋律が弾けて、平易な曲で低音部の動きがあると美しく楽しい曲になります。

さて、今日の長与のハチたちは、どんな羽音で飛んでいるのでしょうか。

♪バイエル44番

作曲：バイエル
編曲：野口 道子

ピアノを弾く人が最初に出会うのがバイエルの教則本だろうと思います。

私たちの講座でも、バイエルに助けてもらって音符の種類やその長さ、リズムなどを勉強しました。ピアノと違ってお友だちと同じ音を同じ高さや、同じ長さで弾くのは大変でした。こんな合奏をするときは、友だちの音をしっかり聴きながら弾かなければいけないことも勉強しました。意外ときれいな曲です。楽器を握って2ヶ月、初舞台に盛大な拍手をお願いします。

プロフィール

子どものための弦楽器講座
指揮

さいとう あきら
齊藤 享



4歳よりヴァイオリンを始める。
国際スズキ・メソード音楽学院卒業。
1992年フィラデルフィアに留学。ダ
レン・ドーマン博士の人間能力開発研究所にてヴァイオ
リン指導も行う。

これまでに安田広務、鈴木鎮一、ジュリアン・マイヤー
の各氏に師事。1996年スズキ・メソード長崎支部を開設、
子ども達の指導にあたる。OMURA 室内合奏団に所属。

2010年から毎年8月9日、長崎の平和祈念式典において、被爆者歌う会『ひまわり』の伴奏を務める。長崎県音楽連盟会員。長崎音楽ボランティア協会会員。その他、イベント会場や披露宴、チャペル等に於いて、クラシックに限らず多彩なジャンルでの演奏活動を各地で行っている。

受講生・講師

指導者 指揮 齊藤 享

ヴァイオリン 西川 浩
山本 博子

チエロ 貞松 末一
ピアノ 西川小夜子

受講生 ヴァイオリン

(年長)	上河 浩太	上河 瑶都
	河本 悠翔	篠原 愛奈
	中野 弾	畠口 太洋
(小1)	有働 杏奈	小田川紗与
	塩脇 啓人	藤井 哉心
	星川 凌雅	

(小2) 安藝 遥 河本 一翔

木須 橘 久保田雪音
才津 雅空 畑口 太郎

山本 奈央 コリンズ実彩
森廣 紀保

(小3)	上河 果林	(小4) 森下 和音
		(小5) 兼松 莉央
(小6)	小田川 尊	(小6) 中川 圭佑
		チエロ
(小3)	高尾 千優	(小4) 井手口怜生
(小5)	大久保莉花	(小6) 井手口七生



「平和コンサート in ながよ」 ジュネス弦楽アンサンブル

平和コンサートの中から「弦楽器講座」が生まれ、更にその芽を伸ばそうということで、「平和コンサート in ながよ」 ジュネス弦楽アンサンブルが結成されて8年目になります。

平和コンサートの他、町の文化祭、文化協会の発表大会、団独自のスプリングコンサート等、年間4～5回の演奏活動をしています。中でもスプリングコンサートでのデュエットは、「友だちの音を聴く」という点で成果があるようです。

今日は8年目を迎えてなおも伸び伸びと成長を続けるジュネスの演奏をお楽しみください。

71年前のあの日は、朝から行進練習でした。「歩調をとれ！」 「膝をしっかり上げ！」 行進は一糸乱れぬものでしたが、靴を履いている者は半分足らず。残りは自分で編んだ草履や下駄履きで登校しており、行進は素足でした。

でも、私は行進が楽しかったのです。式典で歌う君が代は莊厳なものでしたが、歩調を合わせて行進する君が代は、全く違う、蝶が舞うような曲なのです。

行進練習が終わり、私たちが朝礼台の前に並んで校長先生の話を聞いていたその時、額を針で突き刺したような痛みを感じました。辰の口の山手奥には黒い煙が見え、日暮れにはボロボロの服（実は皮膚）を着た女の人が、「多以良まで行く。」と言って通り過ぎたり、降り出したにわか雨を手ぬぐいで拭くと黒くなったり、とても不思議な1日でした。

その後は、教科書の多くの部分を墨で塗り、意味が通じなくなった教科書もやがて姿を消し、あの蝶が舞うような君が代を聴くこともなくなりました。

プロフィール

「平和コンサート in ながよ」
ジュネス弦楽アンサンブル 指揮
にしかわ ひろし
西川 浩



1934年長崎市に生まれる。5歳の時、父からヴァイオリンの手解きを受ける。長崎西高等学校を経て、國學院大学文学部史学科を卒業。公立中学校教諭、音楽科担当。弦楽合奏・合唱・吹奏楽・マンドリン合奏等指導。その間長崎県吹奏楽連盟理事長・九州吹奏楽連盟副理事長を歴任。

指導者 指揮 西川 浩

指導者 大津 順子 梶 耕輔 貞松 末一
西川小夜子 村山 聰 渡邊到紫子
荒川 巴海（高1） 橋爪 沙苗（高1）
山本 武藏（高1） 岩永 実波（中3）
橋口 拓未（中3） 峯 昕（中3）
太田 陽菜（中2） 船橋莉里子（中2）
山本 壮悟（中2） 佐藤 優季（中1）
橋爪 謙介（中1） 森 綾香（中1）

曲目紹介

♪長崎県スポーツ行進曲 作曲：秋山 紀夫

長与中学校吹奏楽部は、昭和44年の長崎国体で、長崎地区の4中学校と共に指定を受け、式典音楽を担当することになりました。ティンパニー、バス、クラリネット、バリトンサックスなど高価な低音楽器を買ってもらいました。

国体の中央講師の秋山氏にマーチの作曲を委嘱しました。驚きました。あの夏の日の蝶が舞う君が代がよみがえったのです。そして蝶々さんの行進。ことあろうに「ある晴れた日に」を使つていました。

「西洋文化は長崎からだからね、蝶々夫人を入れない訳にはいかないよ。」

「戦後の荒廃を、全国の人が『長崎の鐘』を歌って復興したじゃないか。」作曲者の言葉は重いものでした。

長与中学校吹奏楽部は、諫早のメイン会場の他、琴海町のポート会場、長与のソフトボール会場などで、この曲を演奏しました。

♪行進曲「長崎」 作曲：秋山 紀夫

吹奏楽連盟では、平成元年の市制100周年で、記念パレードをすることや記念曲を作ることなどを決め、作曲を再び秋山先生にお願いしました。

秋山先生が行き詰まっているとき、ふとつけたテレビから「赤かとバイ～」のCMが流れてきて、先生は「これ、これこれ！」と言われ、私が歌い、小野事務局長が早速旋律を書いて完成したのがこの行進曲です。

秋山先生のこれら2つの行進曲は、私の人生の中で、立ち止まって考えたり、進む力をもらったり、時にはその美しさに息を呑んだマーチです。

今日は、保護者の方や先生方にも演奏を加勢していただきました。「蝶々夫人」の第2幕、第1場最後のピンカートンを待つ蝶々さんのシルエットにハミングコーラスのトリオ。いくつかの迷いを残しながら、「神よ、この子らに表現の喜びを与え給え」の心境で本番を迎えます。

最後に、一連の地震で被災された熊本の方々にもマーチを届けたいと思います。家や街並みなど早く取り戻してください。

「ガンバレくまもと！」

演奏者

荒川 水紀（小6）	古賀 優介（小6）
松尾 夏奈（小6）	小松 風香（小5）
日高 慶（小5）	安樂 水稀（小4）
本多 陽愛（小4）	小松 涼音（小3）
酒井日菜子（小3）	安樂 隼人（小2）
森 紳也（小1）	
保 護 者 安樂 加織	日高 聖
森 幹也	松尾 智子
山本 博子	



OMURA 室内合奏団

長崎県央に位置するシーハットおおむら（さくらホール）を拠点に、プロの室内オーケストラとして、県内在住及び出身演奏家等を中心に結成。

ゲストアーティストの迫昭嘉（ピアノ・指揮）、松原勝也（ヴァイオリン）、久保田巧（ヴァイオリン）、豊嶋泰嗣（ヴァイオリン）、川本嘉子（ヴィオラ）といった日本屈指の演奏家を登録し、その指導や共演による演奏力や音楽性の向上に努めながら質の高い室内オーケストラを目指している。

2004年4月の正式発足以来、定期演奏会のほか県内各地のホールだけに留まらず教会や寺院などにおいてのコンサートも展開している。

2005年に韓国のオーケストラと開催した「日韓合同交流音楽会」で初の海外公演を成功させ、2008年5月には世界的チェリスト「アントニオ・メネセス」とも共演。学校を対象にした「アウトリーチコンサート」や「プラスクリニック」などの青少年育成事業にも精力的に取り組んでいる。

第25回長崎県地域文化章受章。大村市体育文化センター（シーハットおおむら）の平成22年度「地域創造大賞（総務大臣賞）」受賞にも大きく寄与した。2011年12月より特定非営利活動法人 OMURA 室内合奏団（NPO）となる。2014年11月に平成26年「県民表彰 優良団体（教育文化）」を受賞。



曲目紹介

♪クラリネット五重奏曲 イ長調 K. 581 2.3楽章 作曲：W. A. モーツアルト

モーツアルトがこの曲を作曲した当時、クラリネットはまだ目新しく、ようやくオーケストラの仲間入りを始めた楽器でした。モーツアルトはクラリネットという楽器のもつ可能性を利用し尽くし、クラリネット音楽の発展に大きく貢献しました。

モーツアルトが友人アントン・シュタードラーのために作曲した作品で、それはシンプルに書かれておりながら各楽器の特徴を充分に生かした、室内楽曲の最高傑作です。

昨年は1楽章と4楽章を演奏しました。今年は2楽章、3楽章を聴いていただきたいと思います。若々しく瑞々しいアンサンブルを目指しながら、作品の魅力を充分に伝えることができたら嬉しいです。

プロフィール

OMURA 室内合奏団 芸術監督

むらしますみこ
村嶋寿深子



大村市生まれ。東京藝術大学声楽科卒業後、オペラ「修善寺物語」出演のため渡米。ブロードウェイ・ミュージカル「王様と私」では、亡きユル・プリンナーと共に演。20年余のアメリカ生活にピリオドを打って帰国。東京・カザルスホールにて、コンサートの企画制作に携わる。

出 演 者



松浦 知佳 (violin)

これまでにヴァイオリンを吉村いさこ、菅家恭子、原田大志、デビッド・ノーランの各氏に、室内楽を花崎薰、百武由岐の各師に師事。第16回ながさき若い芽のコンサートに出演。第40回長崎県高等学校音楽コンクール弦楽器部門金賞、第26回全九州高等学校音楽コンクール弦楽器部門金賞およびグランプリを受賞。平成14年度長崎県学校文化活動顕彰受賞。第36回長崎県新人演奏会出演。愛知県立芸術大学選抜コンサート、室内楽の楽しみコンサート、室内楽のタベコンサート出演。平成21年福岡教育大学生涯スポーツ芸術課程卒業。愛知県立芸術大学大学院卒業。OMURA 室内合奏団員。



岡本 誓志 (viola)

長崎市出身。千葉大学理学部化学科卒。3歳よりヴァイオリンを始め、弾くんの弾くヴィタリ作曲シャコンヌに憧れて、苦しい時も泣きながらヴァイオリンを続ける。長崎ジュネス、諫早交響楽団、長崎北高校オーケストラ部等で合奏、音楽の楽しさを学ぶ。大学進学を機に、ヴィオラを弾いている両親の影響を受けて、また体格の良さを活かして、ヴィオラを始める。これまでにヴァイオリンを川口千穂、片田江智子、松岡洋子の各氏に、ヴィオラを小山貴之氏に師事。第20回ながさき“若い芽”のコンサートにヴァイオリンで、第42回長崎県新人演奏会にヴィオラで出演。



田辺 清士 (Cello)

愛知県名古屋市出身。9歳よりチェロを始める。長崎大学工学部機械システム工学科卒業後、長崎大学大学院教育学研究科音楽教育専修を修了。チェロを林良一（元名古屋フィル首席）、宮田浩久（九州交響楽団）の各氏に師事。県内各地で室内楽を中心活動している。OMURA 室内合奏団コントラバス奏者、亀子政孝と低弦アンサンブル BOTTOM LINE STRINGS を結成し、クラシック曲の演奏のみでなく詩の朗読と共演する等様々な活動を行っている。OMURA 室内合奏団員。長崎県音楽連盟会員。2013-2014年度長崎市アウトローチ事業登録アーティスト。



樋口 芳美 (clarinet)

長崎に生まれ、12歳よりクラリネットを始める。長崎東高、長崎大学教育学部音楽科を卒業。在学中から音楽活動を開始し、県新人発表演奏会、西日本出身新人演奏会、ながさき音楽祭等に出演。これまでにクラリネットを小川勉、松本努、C.ナイディック、大島文子の各氏に師事。第132回日演連演奏会において九響と協奏曲を共演し好評を博した。現在、九州各地で精力的に活動しており、演奏活動と並行して後進の指導にもあたっている。また、ディキシーランドジャズバンドにも所属し、さらに活動の場を拡げている。OMURA 室内合奏団員、クラリネット教室主宰。



「平和コンサート in ながよ」弦楽アンサンブル

この弦楽アンサンブルは、長与町内外より情熱のあるメンバーが集い、5月から練習を開始しました。弦楽器のもう豊かな響きや奥行きを追求し、個々のレベルは関係なく、どうしたら1つの作品の中に自分の音を溶け込ませることができるか、立体感のある音楽にできるかをメンバーみんなで様々なアイディアを出しながら高めてきました。昨年のモーツアルトに続き、今年はメンデルスゾーンの弦楽のためのシンフォニア第1番を演奏します。

曲目紹介

♪弦楽のためのシンフォニア

作曲:F. メンデルスゾーン

メンデルスゾーンが12歳から14歳にかけて作曲した、交響曲の習作とされる作品群の総称で全部で13曲あります。これらはメンデルスゾーン家で毎週開催されていた日曜音楽会において演奏するために作曲されました。多彩な旋律、ほとばしるパッセージ、爽やかなハーモニー、躍動感と喜びに溢れた作品です。

1 楽章 Allegro 2 楽章 Andante 3 楽章 Allegro

プロフィール

「平和コンサート in ながよ」
弦楽アンサンブル コンサートマスター

なかにし
中西 弾



福岡教育大学音楽科芸術コース卒業。長崎県新人発表演奏会、西日本出身新人紹介演奏会に出演。第10回宮日音楽コンクールにて優秀賞を受賞。川口千穂、故松村英夫、松野弘明、豊嶋泰嗣の各氏に師事。アルカス SASEBO のヴァイオリンセミナーを毎年受講。2009年イギリスにてコツツウォルズ男声合唱団創立60周年記念コンサートにバッハストリングアンサンブルメンバーとして参加。2006~2009年、ピアノ、アコーディオン、ヴァイオリンによるアコースティックバンド Ringin' Bells Rondo Club に在籍。現在、九州を中心にソロ、室内楽、オーケストラなどで活動中。OMURA 室内合奏団員。

団員

コンサートマスター 中西 弾

第一ヴァイオリン 岩永 実波

佐藤 優季

杉本 裕子

藤木 修爾

藤丸 哲司

野口 明子

第二ヴァイオリン 橋爪 沙苗

藤丸茉里子

森 綾香

浦川 周二

佐藤紀代子

野口 誠

ヴァイオラ 小鍛治美恵子

野口 真由

永本佳菜子

岩永 雅子

チエロ 倉田須和子

田川 博之

山口 哲平

コントラバス 中村 哲

「親子コンサート」

9月22日(木・祝)

シーハットおおむら・

さくらホール

入場料:無料

開演時間:①13:00~

②15:00~

曲目:「ピーターと狼」

(プロコフィエフ作曲)、

アニメソング等

第8回 OMURA・ミュージック・キャンプ(8/11~8/14)の成果をお聴きください!

ジュニアオーケストラ ワンコイン・コンサート

日時:2016年8月14日(日) 15:00開演

会場:シーハットおおむら・さくらホール

入場料:3才~高校生無料、大人500円

【第1部】ジュニア室内楽ステージ

【第2部】講師演奏ステージ…松原勝也(ヴァイオリン)・坂口弦太郎(ヴィオラ)・中木健二(チェロ)

【第3部】ジュニアオーケストラステージ

お問い合わせ/認定NPO法人OMURA室内合奏団

〒856-0836 長崎県大村市幸町25-33 シーハットおおむら内

TEL:0957-20-7207

FAX:0957-20-7203



「平和コンサート in ながよ」歌詞のページ

プレゼント

作詞／Saori 作曲／Nakajin 編曲／大田桜子

「知らない」という言葉の意味 間違えていたんだ
知らない人のこと いつの間にか「嫌い」と言っていたよ
何も知らずに 知ろうともしなかった人のこと
どうして「嫌い」なんて言ったのだろう 流されていたんだ

「知らない」ことは怖いから 醜い言葉ばかり吐き出して誤魔化して
自分のことまで嫌わないで

ひとりぼっちになりたくない ここにいてよ
その言葉言えなくって 心閉ざさないで
ひとりぼっちにさせないから 大丈夫だよ
その言葉返せるように 強くなりたい

「人生」のこと あまりにも問題ばかり起きるから
難問解決プログラムなのかと思っていたけれど
気付いたんだ 「プレゼント」みたいなものなんだって
何十年か好きに生きていい特別なプレゼント

だから楽しみにしながら ゆっくり開けたら良いんだ
自分自身にその言葉を贈るよ いつも忘れちゃうから

いま君のいる世界が 辛くて泣きそうでも
それさえも「プレゼント」だったと笑える日が必ず来る
ひとりぼっちになって 気付いた
本当は大切な人がたくさん いるんだってことが

ひとりぼっちにさせないから 大丈夫だよ
その言葉返せるように 強くなりたい

うた

作詩／佐藤信 作曲・編曲／林光

うたは何処で憶えた？ 半分眠りながら憶えた
母さんの声が夢の戸口開ける
潜り戸の向こう 明るい景色が揺れた
坊やの子守りは何処へ行った？
あの山越えて 谷越えて (子守り歌)

うたは何処で憶えた？ 教科書聞いて憶えた
見知らぬ場所を風が吹いて行く
黒板の地図を書き写す船乗り達
なじかは知らねど心わびて
昔の伝えぞ そぞろ身にしむ (ローレライ)

うたは何処で憶えた？ あいつ待ちながら憶えた
街は雨に濡れてアイスクリームが溶ける
咥えた匙が途方に暮れて苦い
だから だから だから もう
恋なんかしたくない したくないのさ (黒い花びら)

うたは何処で憶えた？ 涙流して憶えた
悲しみではなく 催涙ガスのせいで
微笑む死者はまだ弔うなと告げた
砦の上に我らの世界
築き固めよ勇ましく (ワルシャワの労働歌)

うたは何処で憶えた？ 立ったままで憶えた
うたは何処で憶えた？ 走りながら憶えた
うたは何処で憶えた？ 石を投げながら憶えた
うたは何処で憶えた？ 闘いを知って憶えた

鳥の歌

カタルーニャ民謡 編曲／P. カザルス
作詞／長田好弘 合唱編曲／指方浩

遠く離れて 故郷思う 父の声にも似て
遠く離れて 故郷思う 母の声にも似て

おお 鳥たちよ 平和歌え 愛しい故郷よ
私も歌う 鳥たちと この生きる喜び

おお 戦争で奪わないで この胸のトキメキ
私も歌う 鳥たちと この生きる喜び

マイバラード

作詞・作曲／松井孝夫

みんなで歌おう 心をひとつにして
悲しい時も つらい時も
みんなで歌おう 大きな声を出して
はずかしがらず 歌おうよ

心燃える歌が 歌がきっと君の元へ
きらめけ世界中に 僕の歌をのせて
きらめけ世界中に とどけ愛のメッセージ

みんなで語ろう 心をなごませて
楽しい時も うれしい時も
みんなで語ろう すなおに心開いて
どんな小さな なやみ事も

心痛む思い たとえ君を苦しめても
仲間がここにいるよ いつも君を見てる
僕らは助け合って 生きてゆこういつまでも

心燃える歌が 歌がきっと君の元へ
きらめけ世界中に 僕の歌をのせて
きらめけ世界中に とどけ愛のメッセージ

とどけ愛のメッセージ

大地讃頌

作詞／大木惇夫 作曲／佐藤真

母なる大地のふところに われら人の子の喜びはある
大地を愛せよ 大地に生きる人の子ら その立つ土に感謝せよ

平和な大地を 静かな大地を 大地をほめよ たたえよ土を
恩寵のゆたかな大地 われら人の子の 大地をほめよ
たたえよ 土を
母なる大地を たたえよ ほめよ たたえよ 土を
母なる大地を ああ たたえよ大地を ああ



町歌 「明日をひらく」

作詞：山田喜孝

作曲：指方浩

平成元年、長与町町制施行20周年を迎えるにあたり、みんなで歌える町の歌をということで制作されました。ハ長調で書かれた明るくリズミカルなこの曲は、記念式典における長与町の全合唱団団員100余名の歌声による発表以来、町内の各種行事、音楽祭、発表会、公民館講座の中で歌われ、夏休み・冬休みには小中学生の帰宅の放送としてもその軽やかなメロディーが町内に流れています。今日は出演者全員により演奏されます。

どうぞ皆様もご一緒に“♪明日をひらくわが町長与”をお歌い下さい。

長与町町歌
— 明日をひらく —

作詞 山田 喜孝
作曲 指方 浩

Allegretto

C *mf* E_m A_m F
 1.みどり りりよ やまわみ よよよ
 2.ひかん よよよ やかう よよよ
 3.ひぎば よよよ まわみ よよよ
 はれく ましや みかし てにい
 のぞや すいく そのれ のまき
 くたい しかわ いなな さささ
 1~3.あ いと こ こ ろ と ふ れ あ い の
 ゆ め と のぞみ が ふ くらん で
 あ し た を ひ し く こ え は す む あ し
 た を ひ し く こ え は す む

三、志をはたして

志をはたして
いつの日にか帰ら
山は青きふるさと
水は清きふるさと

二、いかにいます父母
つつがなしやともがま
雨に風につけても
思いいづるふるさと

ふるわと

作詞 高野辰之

一、うさぎ追いし彼の山
こぶな釣りし彼の川
夢は今もめぐりて
忘れがたきふるさと

三 銚波よ 海よ さやかな風よ
広く優しい 琴の海

※愛と心と ふれあいの
夢と望みが ふくらんで
明日をひらく 歓声はずむ
明日をひらく 歓声はずむ

一、緑よ山よさやかな風よ
空は真澄みて琴の尾の
山のすそ野にひらけたる
美しい里わが町長与

作詞 山田 喜孝
作曲 指方 浩

PROGRAM

1 折り鶴 花は咲く アンパンマンのマーチ	長与町立高田中学校吹奏楽部 指揮 中谷恵里子 ヴァイオリン 中西 弾 (花は咲く)
2 「平和の詩」朗読	朗 読 長崎県立長崎西高等学校 長崎県立長崎北陽台高等学校 長崎市立長崎商業高等学校 バックコーラス 長崎県立長崎北陽台高等学校合唱部
3 プレゼント 鳥の歌 うた	合唱 「平和コンサート in ながよ」合唱団 指揮 指方 浩 ピアノ 中野 美佐 ヴァイオリン 中西 弾 (鳥の歌)
4 マイバラード 大地讃頌	合唱 「平和コンサート in ながよ」合唱団 北陽台高校合唱部 指揮 指方 浩 ピアノ 中野 美佐
5 ぶんぶんぶん バイエル44番	子どものための弦楽器講座 受講生 指揮 齋藤 享 ピアノ 西川小夜子
6 長崎県スポーツ行進曲 行進曲「長崎」	「平和コンサート in ながよ」ジュネス弦楽アンサンブル 指揮 西川 浩 ピアノ 西川小夜子、大津 順子
7 クラリネット五重奏 イ長調 K. 581 2.3楽章	OMURA 室内合奏団
8 メンデルスゾーン シンフォニアNo.1	「平和コンサート in ながよ」弦楽アンサンブル コンサートマスター 中西 弾
9 長与町町歌「明日をひらく」	高田中学校吹奏楽部 北陽台高校合唱部 「平和コンサート in ながよ」合唱団 「平和コンサート in ながよ」弦楽アンサンブル 「平和コンサート in ながよ」ジュネス弦楽アンサンブル OMURA 室内合奏団 指揮 指方 浩
10 ふるさと	「平和コンサート in ながよ」出演者合同演奏 ~会場にお越しいただいた皆様も一緒に~ 指揮 西川 浩

「平和コンサート in ながよ」実行委員会
 委員長 指方 浩 委員 西川 浩 中西 弾 平野 義久 高橋 邦子 牧田 常雄

「平和コンサート in ながよ」リーフレット・パンフレット表紙イラスト

木村 瞳子 (きむら ひとみこ)

画家・絵本作家。長与町生まれ。絵本に、『サンタクロースへの手紙』、『シーサイドライナー～海沿いを走る電車～』(ともに福島県の「矢祭もったいない図書館手づくり絵本コンクール」にて最優秀賞を受賞。)がある。豊作の弾き語りなど音楽活動も行う。